

ニュースレター



長野県立こども病院だより第99号 発行日：令和7年9月30日 発行者：稲葉雄二
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<https://nagano-child.jp/> / [✉ kodomo-info@pref-nagano-hosp.jp](mailto:kodomo-info@pref-nagano-hosp.jp)



長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担う子ども達とその家族のために、質が高く、安全な医療を行います。

撮影：大畑淳

Contents

長野県立こども病院	
PICU開設25周年	1
この人に聞く	3
病院内に	
いわずさちひろの作品を展示	5
私のオススメBEST5	6
フィラデルフィア留学記	8
ようこそ！「ちるくまさいぞくかんへ」	10
「ドクターカー写真コンテスト」で 優秀賞を受賞	11
ミキサー食教室参加報告	12
こころにお届けする本	13
保育士だより	13
サポーターズボード	14
View／編集後記	15

長野県立こども病院 PICU開設25周年

小児集中治療科 大森 教雄

1993年に長野県立こども病院が開院し、2001年に小児病院では全国で2番目に「集中治療科」が開設された。開設時のスタッフは宮坂恵子先生を部長とし、齊藤一郎先生（現ちとふなキッズCL）、植田育也先生（現埼玉県立小児医療センター）、本間靖啓先生（現カリンパこどもCL）の4名だった。植田医師が当院NICU在籍時に実務に関わった、県内2次病院への迎え搬送のしくみをPICUでは新生児から小児領域にも拡大し、その後の県内の重症小児患者の搬送体制の整備へ向けての基礎となった。2007年



PICU 開設当初のナースステーション（2001年）

こども病院祭は
10月4日（土）です！



に「麻酔・集中治療部」と名称が変更された。麻酔科の大畑淳先生が部長となり多くの先生方の尽力にてさらに発展した。搬送体制が充実し、搬送件数も大幅に増加した。2010年には3-3次連携協定を信州大学と締結し、重症小児患者はこども病院、多発外傷や重度熱傷は信州大学で管理するという人材と機器の連携と協働が開始された。

2011年に松井彦郎先生（現神原記念病院）のもと「麻酔・集中治療部」から「小児集中治療科」に改称され麻酔科と小児集中治療科は別部門として歩みを開始した。2013年から「重症症例検討会」が年6回開催され、地域の先生方と顔の見える関係の構築がより強化された。2016年にはドクターヘリの運用の連携体制の構築がなさ

れ、小児集中治療医を早期に搬送元病院へ投入するという体制ができた。また、病棟編成を経て2017年に8床から12床に増床され、病棟も新しくより広々とした空間となり、我々の当直室も格段に改善された。同年から信州大学小児科医局との関係性も強化された。毎年1～2人、信州大学所属の若手医師の半年から1年間のローテーション派遣が実施されておりこれまでに15名の信州大学小児科医局員が短期研修に来てくれている。ここで学んだ先生方が地域の医療機関に在籍することでより当科との連携の強化に繋がった。

2018年9月より北村真友先生を部長とする現在の体制が続いている。院内各診療科や各部門と協力しながら日々熱い議論を交わし重症小児患者の救命に全力を注いできた。2020年に「PICU病棟」から「集中治療病棟」に改称した。同年、未曾有の新型コロナウイルス感染症の流行が始まり、当然我々のPICUにも大きな試練だった。長時間のドクターカーによる迎え搬送ではN-95マスクをはじめとする感染対策が欠かせず身体的にも精神的にも大きな負担を強いられた。それでも、一人一人が力を合わせ、互いに支え合い、この困難な時期を乗り越えてきた。そのような中で長野県において、小児患者さんからの臓器提供が

初めて実施された。これはご家族の尊いご意思のもとに実現したものであり、スタッフにとっても初めての経験であった。緊張感に満ちた中で迎えた『命が繋がっていく』瞬間は、忘れがたいものとなった。

現在、北村部長以下、野田俊輔、黒坂了正、箕浦啓宣、大森教雄、森川友樹、田中大貴、藤原絢子の8名のスタッフと3名のフェローに加え、3か月ごとにローテーションで専攻医1～2名、総勢12～13名の医師で日々の診療を担っている。総勢43名の看護師と専属薬剤師をはじめ多職種の仲間と共に、より良い搬送医療、集中治療、終末期医療、移植医療を実践すべく緊張感を保ちつつも、互いに支え合いながら和やかな雰囲気の中で日々働いている。また、今年度より地域の病院との「重症症例検討会」も再開しており、地域病院との更なる関係強化のため邁進していく。集中治療病棟という厳しい現場でありながら、他の病棟と同様に患児の誕生日にはスタッフによる楽器演奏が行われ、自然な笑顔が広がる瞬間も少なくない。25年にわたる積み重ねを礎とし、多くの諸先輩方への感謝を胸に、私たちは「こどもを大切に、家族を大切に、関わるスタッフも大切にする医療」を真摯に求めて、これからも仲間と共に歩みを進めていく。



PICU 開設 2 年目：左から植田育也先生、宮坂恵子先生、本間靖啓先生、齊藤一郎先生、新津健裕先生



2013 年の PICU：中央が当時の部長の松井彦郎先生、左端が現部長の北村真友先生、左から 2 番目が現副部長の黒坂了正先生



2025 年の PICU メンバー





今回インタビューを受けていただいたのは、いつも穏やかな薬剤部長です。

編) こども病院に来られるまでの経緯を教えてください。

鈴木) 薬学部がある大学が長野県にはなかったため、東京

の大学に進学しました。就職するときは「長野県で働きたい」という気持ちがあり卒業後は信州大学医学部附属病院の薬剤部にお世話になりました。その後、病棟での薬剤業務などごくわずかな施設でしかやっていない時代のなかで、先駆的に病棟業務を行っていた長野市民病院に移り、そこで薬剤師として成長させてもらいました。日々勉強する中で、社会人大学院に入ることができ、胎児の肝細胞における薬物代謝という研究テーマに出会い、小児医療への思いが強くなり、タイミングよくこの病院に来ることが出来ました。

編) 薬剤師になろうと思ったきっかけを教えてください。

鈴木) 私は、小さい頃、あまり体が強くなかったので、扁桃腺をよく腫らしていました。その為、幼いながらに親から民間療法をやらされていました。その一つが、仙人掌という薬草を手首に貼ると扁桃腺が腫れなくなるという療法で、今も手首に跡が残っています。それで薬草に興味があ



センニンソウ

き、民間療法なども“自分で理解して取り入れたい”と思うようになり薬学部を目指しました。

編) 大学時代、心に残っているエピソードはありますか？

鈴木) 勉強の事など苦労したことはいっぱいあるのですが、学生時代の1番の衝撃事件は、地下鉄サリン事件です。国家試験の勉強を大学の友人とやっていた時、約束していた友人が一人来なくて心配していたら、テレビで地下鉄日比谷線が止まっているというニュースが入って…それが、地下鉄サリン事件だったのです。その頃は携帯電話が無かったので、友人とは連絡の取りようもなく心配でした



薬剤部集合写真(アニメ風)

が、あとで地下鉄が止まっていて来られなかったらと聞き本当に怖い経験でした。

編) こども病院での勤務は何年になりますか？

鈴木) 8年目になります。こども病院のスタッフは職種を問わず患者さんに優しく、それぞれが使命感を持って働いていると感じます。私たち薬剤師も、薬品の流通が悪い中で在庫を切らさないよう、使命感をもってモチベーション高く働ける病院だと思います。

編) 素敵な印象をありがとうございます！

現在こども病院で薬剤部をまとめている部長ですが、業務の中で苦労されていることがあれば教えてください。

鈴木) やはり、人材不足です。成人の病院であればシステムや機械を導入してカバーする方法がありますが、こども病院はそうはいきません。なぜなら人間の目でやらなければならないことが沢山あるからです。例えば、機械で測れる最小限の量よりもさらに少ない量を調剤することがあります。どうしても機械だとその量が測れない。だから薬剤師の目が必要なのです。

編) 部長が目指している薬剤部チームとはどんなチームでしょうか。

鈴木) 「一人一人が考えて行動できる集団」であってほしいと考えています。一人一人が自立していて、かつ皆が同じ方向に向かって考えて行動できるのが理想ですね。また、薬剤部の中には子育て真っ盛りの職員達もいます。限られた時間の中で多くの業務をお願いしなければならないのですが、どのスタッフも本当にしっかりやってくれて感謝しています。

編) 話は変わりますが、多忙な部長だと思いますが、リフレッシュの方法などありますか。



血液センターオリジナルトミカ
「献血運搬車 日産セレナ」

鈴木) 結構、献血が好きで定期的に献血しています。献血の最中にぼーっとするのも好きですが、献血後のお土産もお得感があって好きです。直近では献血センターオリジナルトミカの献血運搬車ももらいました。嬉しかったですね…現在家の中に飾っています。誰かのためになっていると思うとそれもうれしいです。

編) 他に体調管理で気を使っていることはありますか。



腸活にキムチ



ネマガリダケ

鈴木) 最近自分にキムチが合うと気づきました。いろいろ試した結果キムチに辿りつき毎日食べるようにしています。なんか腸の調子がいいんですね。あとは普段は座って仕事することが多いので、休日は体を動かしたいなと思います。定期的にやっている事は無いですが、シーズンで友人とタケノコ取りに行ったりしています。最近は熊が怖いですね…。

編) 今後の人生の展望とかありますか。

鈴木) 調剤や薬に関わることは好きなので、体がもつ限りやり続けたいと思っています。

いつも穏やかな鈴木部長の勉強熱心なところと優しさについて改めて知ることができた時間となりました。

インタビュー：南塚・山崎



日本薬剤師会 × TV アニメ「薬屋のひとりごと」コラボ

病院内にいわさきちひろの作品を展示しています

安曇野ちひろ美術館

みなさん、絵本画家のいわさきちひろはご存知ですか？

1918年に生まれ、1974年に55歳の若さで亡くなるまで、「世界中のこどもみんなに平和としあわせ」と願い、生涯をととして、子どもを描き続けた絵本画家です。水彩絵の具を駆使し、淡くやわらかな色調で、多くの作品を描きました。

1977年、ちひろの死から3年後に、ちひろの自宅跡に、世界で最初の絵本美術館として「いわさきちひろ絵本美術館（現 ちひろ美術館・東京）」が開館。その開館20周年を記念してできたのが、「安曇野ちひろ美術館」です。安曇野は、信州出身の両親を持つちひろにとって、幼いころから親しんだ心のふるさとでした。ちひろの作品や人生に出会う場所であるとともに、世界の絵本画家の作品にも出会える美術館です。

長野県立こども病院では、今から19年前の2006年より、いわさきちひろのピエゾグラフ※作品を、外来、病棟等院内各所に展示しています。

始まりは、「音楽や文学や美術は心の栄養。人を豊かに、しあわせにしてくれます。（中略）体の具合がすぐれない時こそ心の栄養が大切。病院が少しでも楽しい場所になるお手伝いができればうれしい」という思いからでした。

今回より「しろくまニュースレター」で、病院内に展示している作品をご紹介します機会いただきました。第1回目は、1階家族ラウンジに展示している《秋の花と子どもたち》をご紹介します。

この作品には、何の花が描かれているのでしょうか？

桔梗、撫子、おみなえし、コスモス、すすき、りんどう、彼岸花……秋の花がたくさん描かれています。

子ども向けの絵雑誌「チャイルドブック」に描かれた作品で、秋の花の名前を子どもたちが見つけられるよう、この絵では花を手前に大きく特徴的に描いています。

花の〈窓〉の向こうに集う子どもたちは、どんな話をしているのでしょうか？とてもたのしげですね。画面をゆっくり見ていくと隣り合う花の配色の妙にも気づかされます。

ちひろの絵のなかでは、風が吹いていたり、花の香りが漂っていたり、子どもたちがおしゃべりしていたりします。ちひろの作品を見て、いろいろ想像しながら、ぜひお気に入りの一枚を見つけてみてくださいね！

※ピエゾグラフ…耐光性のある微小インクドットによる精巧な画像表現で、ちひろの繊細な水彩画を高度に再現しています。



いわさきちひろ 秋の花と子どもたち 1965年



家族ラウンジ

開催中の展示：9/5(金)～11/9(日)

公式サイト
二次元コード

- じろしよ トラト つかさおさむ 司修展
- ちひろ 本を読む人 描く人
- ちひろ美術館コレクション 生誕220年 アンデルセンの絵本



● 安曇野ちひろ美術館

〒399-8501 北安曇郡松川村西原 3358-24

TEL.0261-62-0772

松川村営の安曇野ちひろ公園のなかに、美術館があります。

公園の一角には、美術館のほかにも、いわさきちひろの絵で親しまれる『窓ぎわのトットちゃん』（黒柳徹子・著）に登場する「電車の教室」が再現されています。また、収穫体験や郷土食づくり、季節の行事体験ができる体験交流館もあり、一日ゆっくりと過ごすことができます。

私のオススメ BEST5

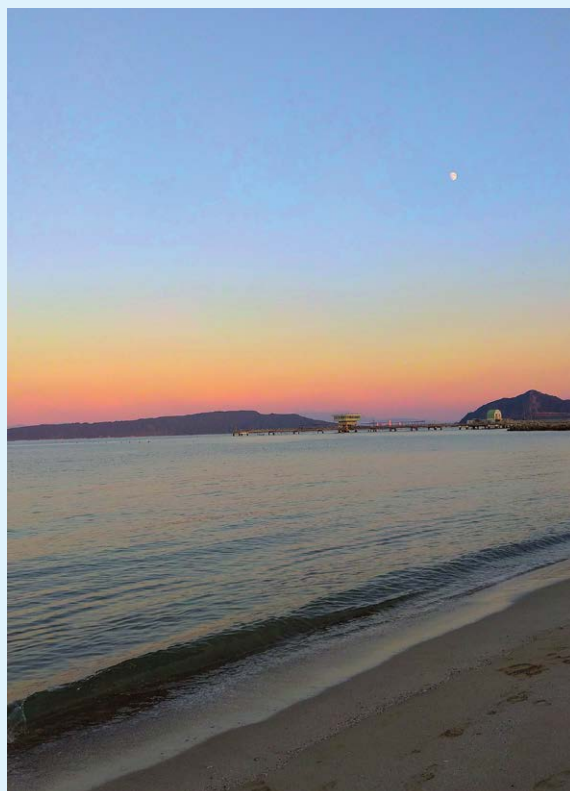
北4病棟 小泉 佐季

集中治療病棟山田優花さんからのバトンで担当させていただきます、北4病棟の小泉佐季です。前回は南の島、種子島の素敵なところをたくさん知ることができました。私も海が好きで島には憧れがあるので、種子島に行ってみたくなりました。今回は私のおすすめの空について紹介します。毎日見上げるとある空ですが、時間帯や季節によって色々な顔をみせてくれますよね。そのなかでも私が癒しをもらっている空をまとめてみました。空をみることはストレス軽減にも効果があるそうです。写真を見てすこしでもみなさんが楽しい気持ちになってくださったらうれしいです。

1位

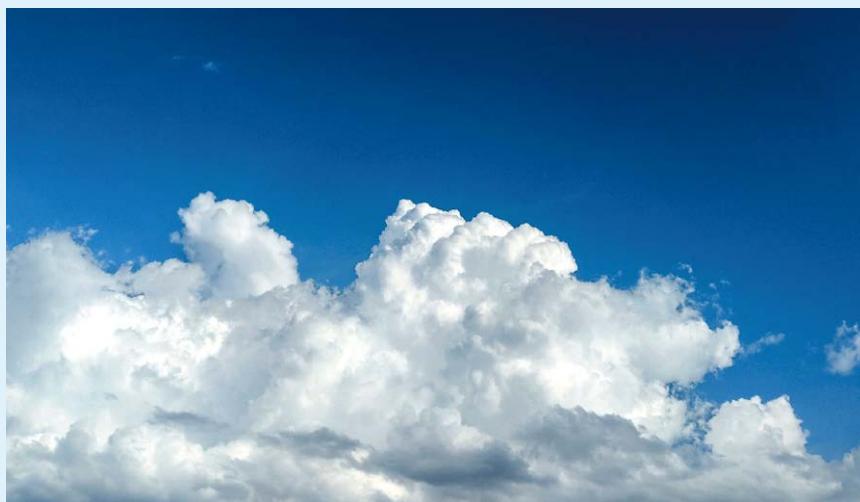
マジックアワーの空

日の出前や日の入り後の空がうっすら明るい時間のことを、薄明やマジックアワーなどといいます。この時間は、青色やオレンジ色など多様な色が美しくグラデーションされて空にひろがっています。名前の通り魔法の時間だなど感じるきれいな空で、とくに日の入り後のマジックアワーの空は、1日の疲れもそっと癒してくれるようおすすめです。



2位

夏の空



どの季節の空も魅力的ですが、夏に現れる深い青色の空と入道雲をみると、夏を実感してワクワクしませんか？夏の空はなんだか他の季節よりも空が高く大きく見えるので、両手をひろげて背伸びをしたくなります。空の色と言っても、青色の濃さによって色々な名前があり、紺碧・天色・空色などと呼ばれています。



明け方の空

まだ動植物たちも活動していない、静かな時間の中でみる明け方の空もとても素敵です。特に冬の明け方の空は、気温が低く空気も澄んでいるためすっきり目覚めることができ、景色もきれいにみることができるのでおすすめです。一言に朝といっても太陽の位置によって名前が異なるそうで、夜から明け方にかけて暁→東雲→曙→黎明と呼びます。



虹のかかる空



虹を見るとうれしい気持ちになる人は多いのではないのでしょうか。虹は雨などの水滴が太陽光を反射することにより現れる現象です。虹にもいろいろな姿・形がありますが、虹が二重に現れるダブルレインボーと呼ばれる虹は、なかなかみることができないひとつとされています。実は写真の虹もダブルレインボーです。珍しい虹と言われているため、きっとみなさんにうれしい出来事が起こりますね。



夜空

月や星を見ることができる夜空は、昼間と同じ空のはずなのに別の空をみているような不思議さがありますよね。宇宙を身近に感じることでできる夜空を見ると、ワクワクして考え事をするのがとても楽しいです。夜の時間は朝方にかけて名前が異なり、宵→夜半→暁へと名前が変化していきます。



空は色・雲・星・景色など色々な魅力がたくさんあるなと感じています。みなさんもぜひ自分なりの空の楽しみ方を見つけてみてはいかがでしょうか。次回は1病棟保育士の竹澤実礼さんへバトンを回します。

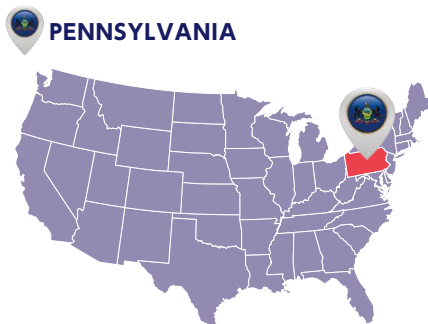




第一章 ～留学の始まり～

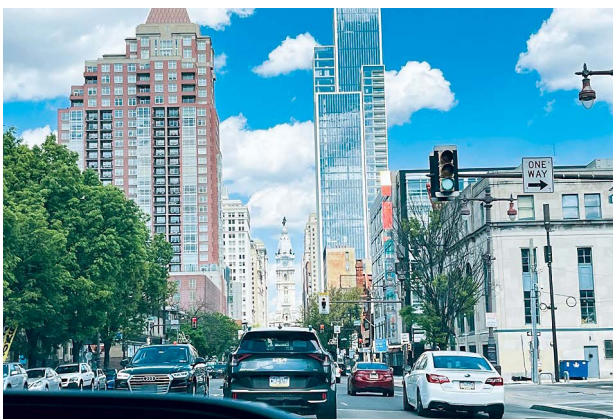
今回、長野県立こども病院からの院外研修として、2年間の留学の機会をいただきました、小児循環器科の沼田隆佑と申します。貴重な留学の機会をいただき、改めて関係者の皆様には感謝申し上げます。

以前に留学報告会として、留学中に行った研究の内容などをシェアさせていただく機会がありましたが、今回はもっと大きな括りで「留学」から感じ得たものを少しでもみなさまと共有できればと思います、しょうもない事をつらつらと書き留めていこうと思います。自分の主観的な部分が多くなってしまいますので、やや偏った表現になるかもしれませんが、一意見として大きな心で捉えていただければと思います。



さて、私が今回2023年から2025年の間に留学させていただいたのは、アメリカの東海岸に位置するペンシルベニア州、フィラデルフィアという都市です。ちょうど北にニューヨーク州、南にワシントンDCに挟まれる形で位置しています。人口は1300万人で、カルフォルニア・ニューヨークに次ぐ、アメリカ第3の都市と呼ばれています。

ペンシルベニア州第一の都市、フィラデルフィアのダウンタウンは高層ビルが立ち並び、精練された雰囲気と緑の多い郊外の地域で形成されています。アメリカ独立宣言が行われた歴史深い街で、自由の鐘やロッキー像など観光地としても有名です。



フィラデルフィア市内の車窓からの景色

現大統領のトランプ氏が大統領選挙の演説中に銃撃された事件が記憶に新しいと思いますが、そちらの演説が行われていたのがまさにフィラデルフィアでした。全米の中でもあまり治安の良い方ではなく、イベントが中心地で行われる度に銃殺の事件が報道され、夜間に出歩くことは非常にリスクの高い危険な側面を持っておりました。コロナの影響により、アジア人への偏見が高まり、より身の回りへの警戒感が必要な風潮が高まっていました。

さて、フィラデルフィアの一般的な話はさておき、まずなぜ私がフィラデルフィア小児病院への留学を決めたのかというくだりから少し話をさせていただこうと思います。

皆さんが思う、留学する人の特徴というのはどのようなものでしょうか。幼少期に親の都合で海外に住んでいて英語が堪能。海外学会で世界中を飛び回っている。そもそも医者なんてみんな英語ができて当たり前だろう。そういった一部の特殊な人が行くものだ、と。そんなことはありません。私が唯一持っている英語の資格は英検3級のみであり、親と海外旅行など行ったことはなく、大学での卒業旅行が初めての海外に触れる瞬間でした。今回の留学前にアメリカ本土へ実際に降り立ったことも一度もありませんでした。テレビの中の世界でしかなかった「留学」というものは、自分にとっては未知のものであり、すべてがチャレンジの連続でした。そもそも、英語というものが得意でなかったのです。

「じゃあ、日本で好きに働いとけばいいじゃん」、「なんでわざわざ大変なことにお金をかけるの?」と。そう思われる方も多いかもしれません。ただ、医者になってからの自分の気持ちの中にはいつもどこかに「このままで良いのだろうか…」という問いを抱えていました。特に、長年同じ仕事を続け、自分のやり方がすべて正解だと思っているような自信満々な人と会う度に、その問いは大きくなっていきました。そんな時に自分の中で、「日本人」というもの以外の感性や文化に触れてみたいと思うようになりました。そんな、些細なことが「留学」を決めた大きな理由だったと思います。それに加えて、英語が苦手という自分の短所を克服したいという単純な気持ち。そしてもちろん、海外の研究や臨床の見学を通して多くのことを学びたい気持ちもあったのも事実です。

そんな中、何年も前から部長である瀧間先生とは、いつか留学に行けないだろうか、と相談を続け、スタッフが増員されるタイミングでついに自分が外に出る余裕が確保さ

れました。物価高や円安が進んでいたことも相まり、アメリカへの留学は給料が担保されていても多額のお金が必要のため自分の貯蓄を切り崩さないといけない状況でした。病院長や事務長とも度重なる話し合いの上、懐の深い援助をいただき、実際に留学までこぎ着けることができました。ちょうど、連携大学院を修了し博士号を取得した直後の2023年4月からの渡米になりました。



渡米直前の循環器チームとの記念撮影

疑問に思われるであろう、英語が苦手な海外に行った経験もほとんどないような奴がどのように留学先を決めたのか、ということに関して少し追記させていただきます。もちろん、海外の病院に“つて”も何もなく、どのように病院を見つければ良いのかわかりませんでした。そんな時に、カナダに留学経験のある循環器の赤澤先生が、日本国内で留学していた小児循環器の先生の連絡先を何人か教えてくださり、面識もない方々に直接メールを送りつけたのが始まりになります。顔も見ただけのような奴からの連絡にも関わらず、非常に温かいご対応で、私のチャレンジを全面的にバックアップして下さりました。海外に挑戦したいという気持ちを留学経験のある方々は非常によく理解してくれ、仲間意識を持ってサポートしていただけたようでした。その中で、研究内容などを含め最終候補に上がったのが、カナダのアルバータ大学かアメリカのフィラデルフィア小児病院でした。決め手としては、三次元エコーを応用した画期的な研究を行っているフィラデルフィアに魅力を強く感じ臨床も世界のトップを走るこの施設に強い魅力を感じました。また、日本人があまり多く留学していないこの土地ならゴリゴリの英語漬けの日々になると思ひ、最終決断をしました。

場所によっては英語の試験が必要な施設もありましたが、幸運なことにこちらはボスとの直接のZOOM面談を行い、OKを貰えば良いという単純なものでした。そこで、前任者である、自治医科大学小児科の松原先生の仲介のもとZOOMでの面談を受けたのを昨日の事のように思い出

します。カタコトの英語で大事なフレーズをいくつか暗記し、とにかく情熱が伝わるよう努力しました。英語の勉強はウェブ英会話を数年受けたのみで、安い第二言語者プランしか受講していなかったため、ネイティブの早く流暢なスピードに全くついていけず、正直、半分程度しか聞き取ることができませんでした。松原先生にサポートをしていただきながら、おそらく30分から1時間程度の面談が終了し、幸運なことにOKをいただくことができました。英語の実力よりも気持ちが伝わったのだらうと思います。

そんなこんなでようやくこぎ着けた留学ですが、もちろん家族との交渉も重要な部分でした。うちは子供たちも比較的年齢が大きく、上が中学生の娘でしたので、妻を含め皆の同意が必要でした。息子はなんとなく「行っても良いよ」、という二つ返事でしたが、妻はしっかりと考えてもらった上で、自分のキャリアである麻酔科を一度休み、2年間の留学について来てくれるという決断をしてくださいました。海外に住んでみたい、面白そう、子供を帰国子女にしたい、そういったポジティブな感情で今回の留学を応援してくれていたように思います。娘に関しては、中高一貫の寮のある学校でしたので、寮で一人暮らし・アメリカでの生活という究極の2択を自分で選んでもらいました。たくさんの友達から離れるのはとても辛い気持ちもあったかと思いますが、チャレンジをしてみたいという気持ちでアメリカ留学を選択してくれました。父親のわがままで急に始まることになった、今回の留学生活。家族が文句を言わずについて来てくれたことが、自分の中でもとても大きな勇気と励みになり、今回のチャレンジが始まりました。



留学の始まり、緑に囲まれた自宅外観

今回は、留学までの道のりとして、さまざまな気持ちの中でスタートした留学の始まりを、取り留めもなく書き連ねさせていただきました。ちょっとでも海外留学に興味がある方がいらっしゃれば、私や家族の経験が少しでも参考になれば幸いです。

次回は、留学を通して大きな文化の違いを感じるようになった体験を少しお伝えできればと思います。

ようこそ!「ちるくすいぞくかんへ」 Vol.4

水槽にやってきた「赤いお星さま」

こんにちは、水槽屋じゅげむの小澤です。

今回は、最近ちるくすいぞくかんにやってきた新しい仲間をご紹介します。

水槽の中のをぞくと、まるでお星様のような形をした生きものが、そっとガラス面に貼り付いています。

動かないように見えて、よ〜く見ると、ほんの少しずつ場所が変わっていることも。

この生きものの名前は「コブヒトデ」。赤い色と星のような形で、子どもたちにも大人気です。

コブヒトデは魚?それとも動物?

ヒトデは「魚」ではなく、ウニやナマコの仲間で“棘皮動物(きょくひどうぶつ)”と呼ばれる生きものです。

体は5本の腕に分かれていて、それが広げた掌のように見えることから「ヒトデ(人の手)」と呼ばれます。ちなみに漢字で書くと「海星」になります。

表面にはたくさんの突起があり、これがコブヒトデの名前の由来。

敵に食べられにくくするための【防具】のような役割もあると考えられています。

口やおしりはどこにある?

コブヒトデには頭も尾もありません。

口は体の裏側のまんなかにもあり、砂の中の小さな生きものやバクテリアなどを食べています。

そして肛門は表側の中心部にあり、あまり目立たない構

造をしています。

食べものを見つけると、体をその上にかぶせて、外に消化液を出してから吸収するという、ちょっと変わった食べ方をします。

どうやって生活しているの?

ヒトデは一見「動いていない」ように見えますが、裏側には管足(かんそく)という吸盤のような小さな足が何百本もついていて、それを使ってゆっくり移動しています。

ヒトデはお魚と違って、特別なエサを必要とせず、水槽の底にある有機物や汚れを食べる「お掃除役」としても活躍してくれます。

ただし、とてもデリケートな生きもので、水質や水温の変化に弱いため、どうしても長く生きられないこともあります。

でも、それは自然なこと。そっと見守り、大切に生きてきた時間こそが思い出になると、私たちは考えています。

おわりに

赤くて静かに輝くコブヒトデは、水槽の中のやさしいお星様のような存在です。

動きは少なくても、私たちにたくさんの「なぜ?」「どうして?」を届けてくれます。

観察のポイントは「今日どこにいるか」「腕の向きが変わっていないか」。小さな変化に気づけると、ちょっとした発見があって楽しいですよ。



コブヒトデ

「ドクターカー写真コンテスト」で優秀賞を受賞しました!

小児集中治療科 田中 大貴

このたび、2025年6月19日から21日にかけて横浜で開催された「第28回日本臨床救急医学会総会・学術集会」の企画「ドクターカー写真コンテスト2025 in YOKOHAMA」において、当院のドクターカーが優秀賞に選出されました。

ドクターカーの役割をご存知ですか？

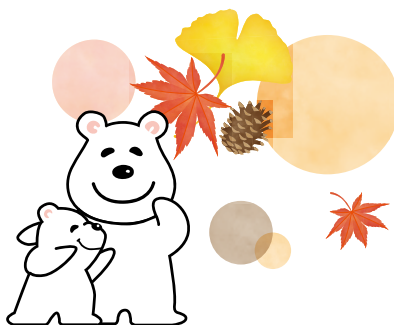
日本全国で300台近いドクターカーが日々稼働し、地域の救急医療を支えています。医師や看護師が同乗し、救急現場にいち早く駆けつけるドクターカーは、まさに「走る救命室」です。今回の写真コンテストは、このドクターカーの重要性と魅力を広く知っていただくことを目的に開催されました。

皆様の温かいご声援に感謝

コンテストには全国76もの病院が参加し、当院も渾身のドクターカー写真でエントリーいたしました。撮影は、PICU看護師で写真を趣味にしている代田悠稀くんをお願いしました。人気投票では、多くの方々から温かいご声援と貴重な一票を投じていただきました。皆様の応援のおかげで、並み居る強豪の中から優秀賞という輝かしい賞をいただくことができました。心より厚く御礼申し上げます。

今回の受賞を大きな励みとし、これからも地域のこどもたちの命と未来を守るため、ドクターカーと共に迅速かつ安全な医療の提供に努めてまいります。

ちなみに、当院だけでなく全国各地で活躍するドクターカーの写真は、下記ウェブサイトからご覧いただけます。ぜひ、その勇姿をご覧ください。



ドクターカー写真
コンテストギャラリー



ミキサー食教室参加報告

小児外科 高見澤 滋

一般社団法人 医ケアの輪主催によるミキサー食教室が令和7年6月21日（土）に長野県立こども病院南大会議室で開催されました。当院からは小児外科の高見澤がミキサー食の概論解説、栄養科の中澤穂乃香管理栄養士がミキサー食の作り方・献立の考え方の講義をし、北4階病棟の柴幸歩看護師が胃瘻からのミキサー食注入の手技を実演しました。

当日は胃瘻栄養を行っている患者さんとそのご家族が33名、管理栄養士さんや院外の看護師さん、学校教諭、学生さんなど19名が現地参加され、オンラインでは24名が参加されました。当院で胃瘻からのミキサー食注入を行うようになって今年で17年目になりますが、院内職員以外の方が参加するミキサー食教室を行うのは今回が

初めてでした。当日は、栄養・食品メーカーのサンプル展示、ご家族が普段使用されているブレンダーやフードプロセッサの展示、ご家族、支援センターの職員の方からの体験談の情報提供もあり有意義な会になりました。開催後のアンケートでは「ミキサー食のイメージが変わった」、「これからの食事に活用できそう」、「普段やっていた疑問に思っていたことが解決した」などの回答や「もっと専門的な話が聞きたかった」などのご意見を頂きました。これからも胃瘻からのミキサー食注入を気軽に行っていけるように情報を発信していきたいと思えます。最後になりますが、ミキサー食教室を主催、運営していただいた医ケアの輪理事の山本里江代表、紮野美和様に厚く御礼申し上げます。



スパゲッティー
ミキサー中



注入体験

サンプル展示



持ちよりブレンダー



スパゲッティー
ミキサー後



ミキサー食教室のお知らせ

持ち寄り参加
OKです
費用は
無料です
美味し
い
自宅で
練習が
良い
みんなが
楽しんで
います

開催日: 令和7年6月21日(土) 11:00~14:30 ※受付10:30~

会場: 長野県立こども病院 南棟大会議室およびオンライン


参加費: 当事者・保護者・学生500円/1家族、ほか1,000円、
オンライン無料(ただし配信は、1.の講義部分のみ)

内容:
 (講義)
 1. ミキサー食の概論解説(小児外科部長 高見澤 滋先生)、質疑応答
 2. 院内管理栄養士によるミキサー食の作り方、献立の考え方、質疑応答
 3. 病棟看護師さんによる注入の手技、質疑応答
 4. お腹を食べながら練習をしましょう~みんなのブレンダーと食形態
 ※ご本人や保護者のお腹にはお持ち帰りできません。 ※途中退室可。

企業展示・サンプル配布: ※茶室の方に各社サンプルプレゼント
 なめらか食品株式会社(伊予川子工場株式会社)
 (展示) 日清食品株式会社(和歌山食品株式会社)
 《サンプル》 トリメック(株式会社特約)
 キオハイト(株式会社特約) 株式会社特約
 ソフティア(各社)・そく第2工場、カマクランほか
 やさしい製法、腸乳食(キュービー株式会社)
 株式会社特約、おなかヘルパー、のりなか
 (キッセイ薬品工業株式会社)

主催/一社) 医ケアの輪 協力/長野県立こども病院
 お問合せ 一社) 医ケアの輪 info@ikeanowa.site

お申込みはこちら



申込締切日
5月31日(土)



こころにお届けする本 こころの支援科 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 矢口 暁子

言わずと知れた名作絵本です。調べてみたところ、こどものとも傑作集としての初版は1977年でした。この本知ってる！子どもの頃に読んだことある！と懐かしさを覚えた方もいらっしゃるかもしれません。

主人公のみいちゃんの表情。握りしめた100円玉の感触。胸がどっきんどっきん鳴る音。ほっとしてぼろんとこぼれた涙。たとえお話の展開を知っていても、思わず“がんばれ、がんばれ”と応援しながらページをめくってしまうのは、あの頃の懐かしさと優しい気持ちでこころを満たしてくれる絵本だからではないでしょうか。

きっとどんな人にも子どもの頃のはじめてのどきどきがあったことでしょう。その時に感じたこと、見た景色…どんなふうだったっけ？もう忘れてしまったなあと考えたあなたにこそ、もう一度手に取ってほしい一冊です。



「はじめてのおつかい」
●作：筒井 頼子
●絵：林 明子
●出版社：福音館書店



保育士だより 病棟レクリエーション「かたつむりをつくろう」

第1病棟 保育士 竹澤 実礼

長野県立こども病院では、子どもたちの入院生活やご家族の付き添い生活の中で少しでも気分転換になり楽しい時間が過ごせるように、と院内全体や各病棟内で様々な活動を企画・実施しています。

私が所属している第1病棟ではレクリエーションや食育教室などを実施していますが、その中で、5月に行われたレクリエーション活動をご紹介します。9月号の内容としては季節外れになりますが、第1病棟での活動について知っていただける機会になればと思います。

5月23日、梅雨をテーマにカラフルなカタツムリ作りをしました。パーツを組み合わせて顔を描き、お花紙を丸めて甲羅に貼るという工程だった為、乳幼児でもご家族の方と一緒に顔を描いたり、お花紙を丸めて貼ったりすることができました。学童児になるとお花紙の丸め方や貼る順番にこだわっている姿がありました。また、中高生は、お花紙を丸めるのではなくお花の形にアレンジをして作っていました。

完成したカタツムリは模造紙に張り付けて病棟内廊下の

壁に6月の壁面として飾りました。どんよりとしてしまいがちな梅雨の季節に、パッと明るい気分になるステキな作品となりました！

第1病棟ではこれからも、入院している子どもたちやご家族が少しでも笑顔で楽しく過ごせるような活動を続けていきたいと思っております！



サポーターズボード (寄附者ご芳名)

令和7年1月～令和7年7月にご寄附いただきました方々へ感謝の意を込めまして、
ご芳名を掲載させていただきます。(希望されない方を除く)
あたたかいご支援、ありがとうございました。

ありがとう
ございました

- 富士電機パワーセミコンダクタ労働組合大町支部 様
- 長野県遊技業協同組合 様
- 株式会社ASOLAB. 様
- 駒村 重美 様・土屋 きみ子 様
- 株式会社アイキューブ 様
- 長野県立こども病院入院付き添い家族応援
ネットワーク ランチテラス 様
- WEST LOVERS 様
- 長野精器株式会社 様
- 小林 克呂 様
- 株式会社旬の味ほりがね物産センター 様
- 外山 典央 様
- 株式会社サンエイ 様
- 株式会社滝沢工業 様
- 株式会社軽井沢バイソンリゾート 様
- 西澤 郁弥 様
- 小林 雅弥 様
- 北陸コカ・コーラボトリング株式会社 様
- トピーファスナー工業株式会社 様
- 有限会社大王 様
- 丸の内ビジネス専門学校 様
- 株式会社エラン 様
- 株式会社日邦バルブ 様
- 信州ミルクランド株式会社 様
- エア・ウォーター・マツハ株式会社 様
- 鍋林株式会社 様
- 株式会社五幸 様
- 花村産業株式会社 様
- 野村ユニソン株式会社 様
- 信州ジビエPublic Relations Group 様
- 上條鋼材株式会社 様
- 信濃毎日新聞 松本本社 様
- 株式会社日本ピスコ第二工場 様
- 株式会社キッツメタルワークス 様
- 湯多利の里 伊那華 様
- シチズンマシナリー株式会社 様
- 武藤工業株式会社 様
- 大成建設株式会社 様
- 松本日産自動車株式会社 様
- 信州・蓼科グランドホテル滝の湯 様
- 株式会社ピーエーイー 様
- 株式会社マスダ 様
- 大明化学工業株式会社 様
- 松本歯科大学 様
- 富士見鉄工株式会社 様
- ササキ通商株式会社 様
- 日本ナレッジ株式会社 様
- 株式会社長野フロー本社 様
- アルピコホテルズ株式会社 様
- アルピコ交通株式会社 様
- アルピコリゾート&ライフ株式会社 様
- アルピコタクシー株式会社 様
- 株式会社デリシア 様
- WRIZA RUNNING CLUB 代表 小林 幸司 様
- 藤縄 洋平 様
- 滝澤 和樹 様・祐子 様
- 三洋グラビア株式会社 様
- 株式会社コスモプラネット 様
- 総合地質コンサルタント株式会社 様
- ライオンズクラブ国際協会334-E地区 地区ガバナー
浜 一平 様
- 株式会社良品計画 無印良品 ツルヤ安曇野穂高店 様
- 伊藤 聡 様
- 櫻井 啓蔵 様
- 長野県長野高等学校図書委員会 様
- 松島 道夫 様
- 株式会社徳永電機 様
- 宮後 正 様 (順不同)



View

～イラスト & 解説 by 浦野 結衣菜～

みなさんこんにちは、病棟保育士の浦野結衣菜です。
真夏のピカーンとした青空が、徐々に温かみを感じる秋空へ移り行く季節となりました。

今回のイラストは大好きな絵本作家のショーン・タンと画家のフィンセント・ファン・ゴッホからインスピレーションを受けて描きました。

何かのきっかけで開いた黒い扉。

怪しげな3本の木と曲がりくねった1本道、雨と虹と傘...

みなさんがこのイラストの物語の続きを作ってくださると嬉しいです。

またこのショーン・タンとフィンセント・ファン・ゴッホ2人のストーリーや絵に興味がある方は調べてみてください。

新しい出会いが待っているかも...



タイトル：「出会い」 水彩・アクリル

編集後記

PICUの開設から四半世紀。医療の進歩とともに、子どもたちの命を守る現場のスタッフの熱意と努力に改めて敬意を抱きました。また、当院の救急医療の象徴でもあるドクターカーの写真がコンテストで優秀賞を受賞したのも25周年に花を添える形になりました。

今号から、院内に飾られている、いわさきちひろさんの絵についてのコラムを連載していただくことになりました。今回は1階の家族ラウンジにある絵「秋の花と子どもたち」。4人の子どもたちがどんなおしゃべりしているのか想像するのも楽しいですね。

薬剤部部長のインタビューでは、見えにくいけれど欠かせない「支える力」に光が当たり、医療の奥深さに触れることができました。保育士だよりでは、病棟レクリエーションでのお花紙のかたつむり作りの様子が紹介され、子どもたちの笑顔が目浮かぶようでした。

そして、私のオススメBEST5では、マジックアワーから夜空まで、空の表情に癒されるひとときを思い出しました。院内水族館に新しく加わったコブヒトデは、見た目のユニークさだけでなく、水槽の底をきれいにしてくれる“お掃除役”としても活躍中です。市民講座でのミキサー食教室、フィラデルフィア小児病院での海外留学記、そして絵本『はじめてのおつかい』の紹介など、今号は“医療”と“暮らし”がやさしく交差する一冊になりました。

秋の風が少しずつ肌に心地よくなってきました。病院に関わるすべてのの方々にとって、穏やかで健やかな季節となりますように。

長野県立こども病院 外来医師担当表

2025年9月1日現在

外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
整形外科	午前	酒井 典子		松原 光宏 酒井 典子	松原 光宏	松原 光宏 酒井 典子(リハ装具)
	午後	酒井 典子	高橋 淳(第2)	松原 光宏 酒井 典子	酒井 典子(リハ装具)	
小児外科	午前		好沢 克 笠井 智子		好沢 克	
	午後		高見澤 滋 ヘルニア外来	高見澤 滋	好沢 克	笠井 智子
眼科	午前	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練
	午後	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝
総合小児科	午前	南 希成 村井 健美	樋口 司		藤井 克則(第1・3) 村井 健美	樋口 司
	午後	頭痛外来(第2・5) 南 希成 (PM4時~5時予防接種相談)*2	樋口 司	樋口 司(第2・3・4) 南 希成(ワクチン接種) 村井 健美(ワクチン接種)	樋口 司(第1) 南 希成 (PM4時~5時予防接種相談)*2	
アレルギー科	午前	伊藤 靖典				伊藤 靖典 徳永 舞
	午後	伊藤 靖典 徳永 舞	伊藤 靖典			徳永 舞
血液腫瘍科 <small>膠原病・免疫不全外来</small>	午前			丸山 悠太(第2・4)(膠原病・免疫不全) 坂下 一夫(第1)(移行医療支援)		
	午後	師川 紘一(自己血)				
循環器小児科 <small>(内科・外科)</small>	午前	小沼 武司(外科) 小嶋 愛(外科)	武井 黄太(内科) 大日方春香(内科)	小沼 武司(外科) 小嶋 愛(外科)	赤澤 陽平(内科)(第2・3・4) 沼田 隆佑(内科) 滋谷 悠馬(内科)(第1・2・3・4)	赤澤 陽平(内科)
	午後	瀧間 浄宏(内科)	赤澤 陽平(内科) 沼田 隆佑(内科) 米原 恒介(内科)	瀧間 浄宏(内科)	武井 黄太(内科)(第1・2・4) 滋谷 悠馬(内科)(第1・2・3・4) 大日方春香(内科)(第3) 米原 恒介(内科)(第1・3)	武井 黄太(内科) 米原 恒介(内科) 滋谷 悠馬(内科)
循環器小児科	午前		大熊ゆかり(第2)(成人先天性外来)			
放射線科	午後			小岩井慶一郎		
リハビリテーション科	午前					リハビリ装具*3
神経小児科	午後			稲葉 雄二(第4)		
	午後				御子柴飛鳥(第2・4)	
皮膚科	午前					
脳神経外科	午前	宮入 洋祐 千葉 晃裕	宮入 洋祐 千葉 晃裕		重田 裕明	
	午後	宮入 洋祐 千葉 晃裕	宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
泌尿器科 <small>皮膚・排泄ケア外来</small>	午前	市野みどり 井川 靖彦		市野みどり 鈴木 智敬	市野みどり 鈴木 智敬	
	午後	市野みどり 鈴木 智敬		市野みどり		
神経小児科	午前	本林 光雄	大澤 由寛	西岡 誠 青柳 壘	大澤 由寛(第1・3) 福山 哲広(第2・4) 西岡 誠 坂口 友理 本林 光雄	大多尾早紀 本林 光雄
	午後	本林 光雄 青柳 壘	本林 光雄 大澤 由寛 西岡 誠	大澤 由寛 大多尾早紀	青柳 壘 坂口 友理	大多尾早紀 本林 光雄
小児外科	午後					高見澤 滋(胃腸・中心静脈栄養外来) 高見澤 滋(胃腸・中心静脈栄養外来)
新生児科	午前	小田 新	柳沢 俊光(第1・3)	小川 亮	廣間 武彦	亀井 良哉
	午後	小田 新 野口 昌彦 土屋 秋元	杉本 美紀(第2)	小川 亮 野口 昌彦 土屋 秋元	廣間 武彦	亀井 良哉
形成外科	午前	野口 昌彦 土屋 秋元	一之瀬優子	野口 昌彦 土屋 秋元	一之瀬優子	永井 史緒
	午後	野口 昌彦 土屋 秋元		野口 昌彦	野口 昌彦	野口 昌彦 杠 俊介 土屋 秋元 永井 史緒
内分泌代謝科	午前		長崎 啓祐	中村千鶴子(第2)	竹内 浩一(第1・3) 長崎 啓祐(第2・4)	中村千鶴子
	午後		長崎 啓祐 中村千鶴子	中村千鶴子(第1・3) 竹内 浩一(第2・4)	竹内 浩一(第1・3) 長崎 啓祐(第2・4)	
総合小児科	午前		藤井 克則 大森 教雄(第1)(腎臓)	中山 佳子(第3)(消化器) 水城 弓絵(第2)(内分泌)		
	午後	スタッフ				
麻酔科	午後	スタッフ				
遺伝科	午前		武田 良淳	武田 良淳	武田 良淳	武田 良淳
	午後	武田 良淳(第1・2・4)	武田 良淳	武田 良淳	武田 良淳 武田 淳子(第4) 高野 亨子	武田 良淳
耳鼻咽喉科	午前	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子
循環器小児科 <small>胎児心臓外来</small>	午前	佐藤梨里子	米原 恒介	佐藤梨里子	武井 黄太	滋谷 悠馬
	午後		大日方春香		赤澤 陽平	沼田 隆佑
産科/成育女性外来	午前	スタッフ 助産師外来	スタッフ	スタッフ	スタッフ 助産師外来	スタッフ
	午後	スタッフ 助産師外来	スタッフ	スタッフ いちご外来	スタッフ 助産師外来	スタッフ
母性内科	午後	長崎 啓祐(第1・5) 中村千鶴子(第2・4)				
血液腫瘍科	午前	坂下 一夫	坂下 一夫	坂下 一夫	坂下 一夫	
	午後	坂下 一夫			坂下 一夫 坂下 一夫 中嶋 英子 村田 マサ子	
リハビリテーション科	午前	五味 優子	三澤 由佳	三澤 由佳	中嶋 英子 村田 マサ子	五味 優子
	午後	三澤 由佳	三澤 由佳	三澤 由佳(第4)(移行医療支援)		三澤 由佳
発達心療科*1	午前		山田 慎二(初診)		山田 慎二(初診)	山田 慎二
	午後					山田 慎二

*1 発達心療科については、紹介元医療機関から療育支援部にお問い合わせください。
 *2 長野県予防接種センター相談 *3 リハビリ装具は整形外科酒井医師の診察となります。
 ★診察時間：午前9時~午後4時 ★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

文字が小さく見にくい方は
こちらからご覧できます



予約専用電話 ★受診には、原則として
予約が必要です。
0263-73-5300